



平成28年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【星が丘地区】

平成29年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 すずかけオレンジカフェ	高齢者生きがいづくり事業	認知症の方が地域に増えているが、正しく認知症を理解されている人が少ない。 介護保険サービスを受けていない人については、専門家や専門機関に相談する機会があまりない。 認知症の方やその家族が地域から孤立してしまうことが多い。	認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を旨とした活動などのできる場所を作る。 地域の方に認知症について正しい認識をしてもらう。 誰でも気軽に来れる心地よい場所を作り、認知症の方やその家族が地域とつながれる場所を作る。 本事業を通じて、地域住民、区内介護保険事業者、地区社会福祉協議会、地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、高齢者支援センターにて定期的に話し合いを実施し、地域の中で認知症の方に対して共通の認識を深め、話し合いを行うきっかけとする。 本事業を通じて認知症サポーターを地域の中で増やしていく。	月に1回(毎月第4火曜日10:00~12:00)、星が丘公民館を会場としてすずかけオレンジカフェを継続的に実施する。 ・介護や福祉の専門家による個別相談 ・一般の人へのミニレクチャー ・カフェに来た人が和めるコンサート等 認知症サポーター養成講座の実施	6月3日	310,000	280,000	280,000
2 千代田ナイトフェスタ実行委員会	千代田ナイトフェスタ	・自治会加入率が年々減少しているなか、地域を活性化させるため、地域の連帯感を高める必要がある。 ・地域活動の担い手の高齢化が進んでいるため、若者世代の参加を促進する必要がある。	・千代田地域合同のイベントを開催することで、地域の連帯感を醸成し、活性化に寄与する。 ・若者世代など、イベントへの参加者を増やすことにより、地域住民の自治会活動への理解を深め、地域おこしをする。 ・自治会未加入者にも参加してもらうことで、自治会とつながりをつくり、加入促進する。	千代田2丁目から千代田7丁目までの6自治会合同で千代田ナイトフェスタを開催する。 <日時> 平成28年7月30日(土) 午後6時から午後8時30分まで <場所> 千代田保育園前の横断歩道から久米文具店傍の信号までの道路 <内容> 地域で活動している団体などに協力を仰ぎ、活動成果の発表をすることにより、日頃から地域で生活する住民が触れ合う機会を提供し、活性化につなげる。 鼓笛隊演奏、よさこい、お囃子、御輿等 フェスタのポスター(300部)、チラシ(1,000部)の作成	7月12日	400,000	400,000	400,000
3 星が丘地区ふれあいフェスティバル実行委員会	星が丘地区ふれあいフェスティバル	過去実施したフェスティバルを通じて、地域内における団体間の交流が深まり、団体の活動も地域に認知されてきている状況である。近年の来場者数は4,000人程であり、地域のイベントとして定着してきており、継続することでさらなる活性化につながるものと思われる。	団体間の交流をさらに深め、新たな組織間連携の醸成を図ることで、地域の活性化につなげる。	地域で活動している諸団体が協力し、星が丘地区ふれあいフェスティバルを開催する。 <日時> 平成28年10月23日(日) 午前10時から午後3時まで <会場> 星が丘小学校校庭 <内容> ・各種団体による活動紹介 ・各種団体の加入促進 ・各種団体による模擬店 ・ステージイベントの実施(地域内の小学校・保育園、活動団体等) ・アトラクションの実施 (ジャンボダーツ、抽選会、じゃんけん大会、スタンブラリー、凧づくり教室等) ポスター(200部)を作成し、各自治会掲示板、公民館、地域の商店等に掲示してもらう。	10月19日	991,000	900,000	900,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	星が丘地区の古い写真等を保存し活用を進める会	星が丘地区の歴史資料を作り活用を進める事業	星が丘地区の歴史はそれほど古くないが、世代交代が進み、星が丘住宅発足当時から住んでいる方はほとんどいなくなり、その子どもである二代目も高齢化が進んできている。そして、三代目へと移行しつつあるのが現状である。三代目となると、祖父母の写真等に対する愛着も強くなり、また持っている必要性もなくなり、処分をしている家もあると聞く。星が丘地区の昔の風景や建物等が写っている写真もあり、地区の歴史として貴重な資料となるため、今後に残していく必要がある。	各家庭で眠っている古い写真や資料を発掘・保存、データベース化し、地域活動や学校教育に利用したり、公民館等に展示したりすることで、地域の成り立ちや歴史を共有し、ふるさと星が丘の意識醸成を図るなかで、地域の一体感や連帯感を育み、助け合う「やさしさいっぱい星が丘」をつくっていく。	12月1日	750,000	700,000	700,000
5	子ども安全まちづくり推進委員会	子ども安全まちづくり推進事業	・犯罪が多様化する中、子どもたちが安全に安心して暮らせる環境をつくるため、地域住民の防犯意識を高め、地域全体の安全性の向上を図る必要がある。 ・中央区の自転車事故は年々減少しているが、依然として発生件数は多いため、地域住民に自転車の安全運転を意識付け、事故のないまちづくりを進める必要がある。	・犯罪を起こさせないまちづくりを目指し、防犯・交通安全啓発活動を行うことで、地域住民の防犯意識を高め、犯罪の抑止とする。 ・プレートを取り付けた自転車に乗ることで、危険運転などの交通ルール違反の抑止となり、自転車事故の防止に繋がる。	2月17日	513,000	513,000	513,000
6	星が丘ひなまつり共助の音楽会実行委員会	星が丘ひなまつり共助の音楽会	災害発生などの非常時に、地域住民同士の支え合い・助け合いは必要不可欠である。しかし、最近の地域社会は、人と人のつながりが希薄化し、世代間の交流も減ってきている。世代に関係なく誰もが楽しめるイベントを開催し、交流の場を設けることで、災害発生時にも役立つ地域住民同士の顔と顔が繋がっている地域づくりの一助とする。 あわせて、東日本大震災の教訓を継承していくことが重要である。	・世代を超えて楽しめる音楽を通じ、子どもから高齢者までが気軽に集える場を創出し、地域住民が顔見知りになる機会とする。 ・東日本大震災の教訓を忘れず、地域住民同士の共助の大切さを再認識してもらう。 ・地域活動の拠点である公民館で活動している団体が参加する音楽会を開催し、地域の文化活動を支援する。 ・星が丘地区の出身者であり、広く活動している音楽家にも参加してもらい、地区への誇りや愛着を醸成する。	2月17日	200,000	200,000	189,000
						3,164,000	2,993,000	2,982,000